

第5学年 音楽科学習指導案

令和2年2月5日(水)第5校時

文京区立駕籠町小学校

第5学年1組 26名

学級担任 菊地 智巳

指導者 金田 美奈子

1 題材名 主題の変化を感じ取ってきこう

2 題材の目標

主題と変奏を聴き取り、それらが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、変奏曲の構造と曲想とのかかわりを理解して聴く。

指導事項<学習指導要領の第5学年及び第6学年の内容より>

「B鑑賞」

ア 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴くこと。

イ 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解すること。

〔共通事項〕ア 旋律 音色 イ 音楽の縦と横との関係 反復 変化

3 児童の実態と題材設定の理由

第5学年の児童は、音楽の学習に自ら取り組もうとする児童が多く、特に音楽づくりで新しい表現をつくる活動を好んでいる。また、歌唱や器楽の学習では、新しい楽曲との出会いの場面である導入時において、音楽を聴いて気付いたことや感じ取ったことをペアや全体で交流し、曲全体の特徴について共有する場面を設定する。このことにより、児童が「このように演奏したい。」「このように演奏するにはどのような工夫が必要なのか。」等、自分の思いや意図をもって表現活動に取り組むことができるようになりつつある。鑑賞の学習では、音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの生み出すよさや美しさを感じ取りながら楽曲全体を味わって聴くという活動を、継続的に指導してきているが、変奏曲形式については未習である。

そこで、今回は楽器の音色や演奏の仕方の特徴を捉えやすく、アンサンブルの楽しさを味わうことのできる室内楽を教材として取り上げる。この中で、主題を演奏する楽器の移り変わりに焦点を当て、主題を演奏する楽器が移り変わることによって生じる響きの違いや曲想の変化等を感じ取りながら変奏曲の構造を理解して聴くことができると考え、本題材を設定した。

4 教材と使用音源

(1) 教材「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」(シューベルト作曲)

1819年にシューベルトがシュタイルへ旅行をした時に、パルムガルトナーの依頼を受けて、既に自身で作曲していた歌曲「ます」の旋律を主題とした変奏曲を第4楽章に含む全5楽章ピアノ五

重奏曲として作曲した。

この曲は一般的な弦楽四重奏曲とは異なり、バイオリンを1つにして、ビオラ、チェロ、コントラバスにピアノが加わるという演奏形態をとっている。変奏曲とは、特定の旋律に様々な方法で変化を加えながら音楽を展開していく楽曲形式のことである。ここで材料として選ばれた旋律を「主題」といい、この後に続く変化される部分を「変奏」という。この第4楽章は主題と5つの変奏とコーダで構成されている。

(2) 使用音源

教科書に準拠した CD 及びデジタル教科書の音源を使用する。また、映像資料としては、教科書準拠の DVD と、1969 年に撮影されたもので、バレンボイムが主宰したサウスバンク音楽祭におけるパールマン（バイオリン）、ズッカーマン（ビオラ）、デュ・プレ（チェロ）、バレンボイム（ピアノ）メータ（コントラバス）の演奏を使用する。

5 題材の評価規準

	音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
題材の評価規準	①主題と変奏によって構成された音楽に興味・関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	①主題を演奏する楽器の移り変わりを聴き取り、それが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲全体を味わって聴いている。 ②主題と変奏で構成された音楽の構造について、主題を演奏する楽器が移り変わることによるよさや面白さなどと関わらせて理解している。

6 題材の学習指導計画（全3時間）

時	○主な学習内容 ・主な学習活動	☆教師の支援 ◆評価（評価方法）
<ねらい>主題と変奏によって構成された音楽に興味・関心を持ち、学習の見通しをもつ。		
1	○楽器の音色の復習 ・弦楽器とピアノの音の特徴を確認する。 ○主題の知覚・感受 ・歌曲の「ます」を聴き、旋律を歌う。 ・「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」の主題を聴く。	☆既習である弦楽器の音色について確認するために、同じ楽曲を DVD と教師の演奏で聴く活動を設定する。 ☆主題を捉えることができるようにするために、「ます」の旋律を「ル」や「ラ」で歌う活動を設定する。 ☆主旋律と伴奏との関わり合いに意識を向けて聴くことができるようにするために、主旋

- ・主題の中で、主旋律を演奏する楽器と伴奏をしている楽器を聴き取り、楽器同士の関わりについて、気付いたことや感じたことをトリオで話し合い、学習カードにメモをする。

「**主な楽器がバイオリンで、支えているのがチェロやコントラバス。**」

「**メロディーがバイオリン、ビオラが同じようにうごいている。チェロ・コントラバスは伴奏。**」

「**バイオリンが主に奏でられていて、バイオリンの音が落ち着いている時に他の楽器(ビオラ・チェロ)が奏でられている。**」

「**旋律のバイオリンが響いている時に伴奏と思われるチェロが細かいリズムを鳴らしている。同時に重なっている。**」

「**旋律の間を埋めるように伴奏が入っている。**」

- ・トリオで話し合ったことを全体で共有する。

○学習の振り返り

○次時の学習活動の把握

- ・主旋律を演奏している楽器を指差しながら「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」を通して聴く。
- ・楽曲が主題・第1変奏～第5変奏、コーダで構成されていることを押さえる。

律の動きに合わせて手を動かしたり旋律を口ずさんだりしながら聴く活動を設定する。

- ☆主題を演奏している旋律楽器と、その他の楽器の伴奏との関わり合いから感じたことについてまとめる手掛かりとなるよう、トリオで聴き取ったことと感じ取ったことを共有する時間を設定する。

- ☆次時で主題を演奏している楽器の移り変わりによる曲想の変化について聴くことができるようにするために、楽曲の構成と主旋律を演奏している楽器を押さえる活動を設定する。

- ☆曲全体の流れを捉えることができるようにするために、変奏の数をトリオで確認しながら最後まで聴く活動を設定する。

- ☆曲全体の構成を視角的に捉えることができるようにするために、デジタル教科書を活用する。

- ◆主題と変奏によって構成された音楽に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

【関一①】（発言・学習カード）

<ねらい>主題を演奏する楽器の移り変わりによる曲想の変化を知覚・感受する。

2 本 時	<p>○主題の確認</p> <ul style="list-style-type: none">・「ます」を歌う。 <p>・「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」の主題を聴く。</p> <p>○主題を演奏する楽器の移り変わりの知覚・感受</p> <ul style="list-style-type: none">・「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」第1変奏から第5変奏、コーダを聴き、学習カードに主旋律を演奏している楽器名を記入する。 <p>・もう一度聴き、主題を演奏する楽器の移り変わりによって曲想がどのように変化しているのかについて気付いたことや感じたことを書く。</p> <p>・映像を見ながら、主題を演奏している楽器の移り変わりを確認する。</p> <p>・トリオで主題を演奏する楽器の移り変わりによる曲想の変化について交流する。</p> <p>・トリオで話し合ったことを、全体で交流する。</p> <p>○主題を演奏する楽器の移り変わりによる曲想の変化の理解</p> <ul style="list-style-type: none">・各変奏ごとに主旋律と演奏している楽器の音色とを手がかりとして自分が考える各変奏の「おすすめポイント」をまとめる。 <p>○学習の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none">・主題を演奏する楽器の移り変わりによる曲想の変化について聴き、自分が気付いたことや考えたこと、活動の仕方等について振り返る内容の学習感想を書く。	<p>☆主題を想起することができるように主旋律を口ずさむ活動を設定する。</p> <p>☆主題を演奏している楽器の移り変わりに焦点化して聴く活動ができるようにするために、まず、前時に確認した各変奏で主旋律を演奏している楽器名を学習カードに書く活動を設定する。</p> <p>☆簡条書きや図形楽譜、オノマトペなど、自分がメモをしやすい方法で書くよう指示をする。</p> <p>☆演奏している楽器の音色と曲想の関わりについても、気付いたことや感じたことを書くよう指示をする。</p> <p>☆各変奏における主題を演奏している楽器の移り変わりを意識しながら聴くことができるように、DVDを見ながら聴く活動を設定する。</p> <p>☆友達の見地で参考になるものは、学習カードに記述するよう助言する。</p> <p>☆次時の紹介文では、自分が特に印象に残った変奏を選んで他の曲の曲想と比較しながら書くことを伝え、次時に紹介文が書けるような整理をするよう助言する。</p> <p>◆主題を演奏する楽器の移り変わりを聴き取り、それが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲全体を味わって聴いている。</p> <p>【鑑一①】（発言・学習カード）</p>
-------------	--	---

<ねらい> 「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」の構造と曲想との関わりを理解する。

3	<p>○変奏曲の構造と曲想との関わりの理解</p> <ul style="list-style-type: none">・もう一度「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」を聴き、主題を演奏する楽器の移り変わりによって生まれる曲想の変化を確認する。・前時に書いたおすすめポイントを手がかりとして、自分がどの変奏を中心に紹介文を書くかを決める。・曲全体を別の映像資料で鑑賞し、紹介文で書く変奏の「おすすめポイント」や映像資料の演奏のよさについて、トリオで交流する。 <p>・「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」の紹介文を書く。</p> <p>○学習の振り返り</p>	<p>☆前時の学習カードに記述した、主題を演奏する楽器の移り変わりによって曲想がどのように変化しているかについてを視点として確認するよう助言する。</p> <p>☆主旋律を演奏する楽器の移り変わりに加え、主旋律と伴奏との関わりや演奏のよさについても視覚的に確認することができるようにするために、映像資料を使用する。</p> <p>◆主題と変奏で構成された音楽の構造について、主題を演奏する楽器が移り変わることによるよさや面白さなどに関わらせて理解している。</p> <p>【鑑-②】（発言・学習カード）</p>
---	---	---

7 本時の学習(2 / 3 時間)

(1)ねらい 主題を演奏する楽器の移り変わりによる曲想の変化を知覚・感受する。

(2)学習の展開

○学習内容	・学習活動	☆教師の支援 ◆評価 【評価項目】(評価方法)
<p>○主題の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ます」を歌う。 ・「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」の主題を聴く。 ・今日のめあてを確認する。 	<p>☆主題を想起することができるように主旋律を口ずさむ活動を設定する。</p>	
<p>主題を演そうする楽器の移り変わりによる曲想の変化を感じ取ろう。</p>		
<p>○主題を演奏する楽器の移り変わりの知覚・感受</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」第1変奏から第5変奏、コーダを聴き、学習カードに主旋律を演奏している楽器名を記入する。 ・もう一度聴き、主題を演奏する楽器の移り変わりによって曲想がどのように変化しているのかについて気付いたことや感じたことを書く。 ・映像を見ながら、主題を演奏している楽器の移り変わりを確認する。 ・トリオで主題を演奏する楽器の移り変わりによる曲想の変化について交流する。 ・トリオで話し合ったことを、全体で交流する。 <p>○主題を演奏する楽器の移り変わりによる曲想の変化の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各変奏ごとに主旋律と演奏している楽器の音色とを手がかりとして自分が考える各変奏の「おすすめポイント」をまとめる。 <p>○学習の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主題を演奏する楽器の移り変わりによる曲想の変化について聴き、自分が気付いたことや考えたこと、活動の仕方等について振り返る内容の学習感想を書く。 	<p>☆主題を演奏する楽器の移り変わりに焦点化して聴く活動ができるようにするために、まず、前時に確認した各変奏で主旋律を演奏している楽器名を学習カードに書く活動を設定する。</p> <p>☆箇条書きや図形楽譜、オノマトペなど、自分がメモをしやすい方法で書くよう指示をする。</p> <p>☆演奏している楽器の音色と曲想の関わりについても、気付いたことや感じたことを書くよう指示をする。</p> <p>☆各変奏における主題を演奏している楽器の移り変わりを意識しながら聴くことができるように、DVDを見ながら聴く活動を設定する。</p> <p>☆友達の見解で参考になるものは、学習カードに記述するよう助言する。</p> <p>☆次時の紹介文では、自分が特に印象に残った変奏を選んで他の曲の曲想と比較しながら書くことを伝え、次時に紹介文が書けるような整理をするよう助言する。</p> <p>◆主題を演奏する楽器の移り変わりを聴き取り、それが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲全体を味わって聴いている。</p> <p>【鑑一①】(学習カード)</p>	

